

緑のしるべ

平成 29 年 6 月

茨城県県南農林事務所
稲敷地域農業改良普及センター
稲敷地域農業改良普及事業推進協議会
稲敷市江戸崎甲541
TEL 029 (892) 2934
FAX 029 (892) 6684
E-mail f-inashiki@agri.pref.ibaraki.jp

龍ヶ崎トマトを使った料理フェアを盛大に開催!!



トマトフェアを開催しました

五月一九日、平成二九年度いなしきアグリビジネスフェア「トマトフェア」が開催され、地域の住民約七〇名が参加しました。

いなしきアグリビジネスフェアは地域農産物の地産地消や六次産業化の推進を目的に市町村と普及センターが合同で開催しているイベントです。今回は龍ヶ崎市との共同開催で、同市が誇るブランドトマト「レディーファースト」をテーマとし、料理を通してその魅力をPRしました。

レディーファーストは皮が薄く、果肉が肉厚で味が濃いいため、生食はもちろんのこと、調理することでさらに美味しさが際立つトマトです。

会場にはレディーファーストをふんだんに使ったパスタ料理や野菜の煮込み料理カポナータ、地元産米を使ったりゾットなど、一七種のトマト料理が並びました。



(上) 冷製パスタ
(下) トマトと鶏肉のタンドリー風

また、料理研究家の岡野沙織氏による「レディーファースト三分クッキング」のデモンストラーションや、栽培の特徴や生産者のこだわりなどをまとめたスライドショー「レディーファーストものがたり」の上映が行われ、会場を盛り上げました。

会場の外ではプチマルシェも開催され、管内の新鮮な野菜や農産加工品のPR・販売が行われました。



(上) 阿見産いちごのパウンドケーキ

イネ縞葉枯病に注意!

近年、イネ縞葉枯病の発生が県内各地で確認されており、被害の拡大が懸念されています。

イネ縞葉枯病は、ヒメトビウンカが媒介するウイルス病です。越冬前のヒメトビウンカの保虫率が一〇%を越えると発病株が多くなり、県南地域でも一〇%を超えている地域が複数確認されています(三月三日付け茨城県病害虫防除所発行、病害虫発生予察注意報参照)。



ヒメトビウンカ雌成虫
(病害虫防除所HP)

発病株は葉に縞状の病斑を生じ、生育初期に発病すると枯れ上がり、出穂前に発病すると穂は不稔になり減収してしまいます。

対策としては、病気の発生源であるヒメトビウンカを退治することが重要です。育苗箱施肥又は六月中旬頃の本田散布による初期防除を徹底してください。



葉の退緑症状



穂の出すくみ症状

(病害虫防除所HP)

**農作業を点検しませんか
(GAP)**

農産物の安全性に関わる認証制度の一つにGAP(Good Agricultural Practice、農業生産工程管理)があります。自分の行っている農業について、食品安全、環境保全、労働安全の3つの分野の点検を行い、問題を見つけ出し改善策に取り組むことでより良い農業を目指すものです。

県内で多く取り組まれているのは生産者による自主点検です。ほ場や作業場を見回りながら定められた項目に基づいて点検を行い、見つかった問題点の改善に取り組むことで農業機械の事故リスクの排除、作業効率の向上、生産現場の環境改善につながっています。

さらに、外部機関による認証を受ける方法もあります(第三者認証)。販売先や消費者へ適正な農業を実施していることをアピールし、農産物の安全性を訴えていくことで信頼と評価を得ることが期待できます。GAP

Pの第三者認証は二〇二〇年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでの食材調達基準になっています。その中でもグローバルGAPは農産物を輸出する際の国際的な取引条件になっています。

県ではGAPに取り組もうとする産地を支援するため、GAP導入支援アドバイザーの派遣や第三者認証の取得支援も行っています。関心のある方は普及センターまで相談してください。

(以下写真) 自主点検により改善した取組事例



劇物・毒物はカギ付きの農薬保管庫に保管する。



緊急連絡先の表示

禁煙

禁煙の表示



出荷資材は床に直置きしない



刃物は数の管理を徹底する

**管内の花紹介
ヒマワリ(切り花)**



ヒマワリは夏を代表する切り花のひとつです。播種から開花までの期間が短いために回転率が高く、ハウスを有効利用できる品目です。管内では、牛久市と稲敷市でフリージアの裏作として栽培されています。

ヒマワリはテーブルアレンジにぴったりの品目で、お皿やグラスに黄色いヒマワリを生けるだけで、手軽に夏を演出できます。今年の夏はお部屋のインテリアにいかがでしょうか。

「みほふれ愛プラザ」 がオープン!!

みほふれ愛プラザの地域産品直売所では、美浦村および周辺地域で採れた新鮮な野菜や特産品、地域資源を活用した加工品を販売しています。

また、直売所内にはイトイ「コーナー」かあさんの台所が併設されており、まごころを込めた手作りお惣菜や軽食が食べられます。



みほふれ愛プラザ

住所：美浦村大字宮地 1211-1
 電話：029-875-6010
 営業：9時～18時
 （かあさんの台所 10時～16時）
 ※水曜定休

平成二九年度農業学園 を開催します!

稲敷地域農業改良普及センターでは地域農業の優れた担い手の育成を目的に、新規就農者や若手農業者を対象に農業学園を開催しています。基礎的知識の習得だけでなく、同年代の農業者と情報交換を行う貴重な機会にもなります。

月講座内容
6 開講式(先輩農業者の講話)
7 水稻の後期管理について
8 アグリフードEXPO視察
10 農業ワールド視察
11 タキイ種苗(株)農場視察
12 ネギ栽培の基本について
1 先輩農業者の講話
2 閉講式(農産加工視察研修)

【申し込み先】

稲敷地域農業改良普及センター(担当：古渡)

TEL・・・〇二九八九二二九三四
 FAX・・・〇二九八九二二六六八四

農業大学校の紹介・ 学生募集

県立農業大学校では、高校等卒業生(若しくは見込者)を対象に農業部(農学科 四〇名・畜産学科 一〇名)、園芸部(園芸学科 二〇名)の学生を募集します。一年生は全寮制で、二年生は希望入寮制となります。

また、農業大学校卒業生、短期大学等の卒業生(若しくは見込者)を対象として、研究科一〇名を募集します。

◆入学願書の受付期間

◎推薦入学(各学科)

平成二九年十月二日～二十日

◎一般入学・前期(各学科)

平成二九年十一月十三日～十二月八日

◎一般入学・後期(各学科)

平成三十年二月五日～二十三日

日

◎研究科

平成二九年十一月十三日～十二月八日

◆問合せ先 県立農業大学校

電話 〇二九二二九二〇〇一〇

FAX 〇二九二二九二〇〇九〇三

◆農大ホームページ

農業総合センター/茨城県

で検索